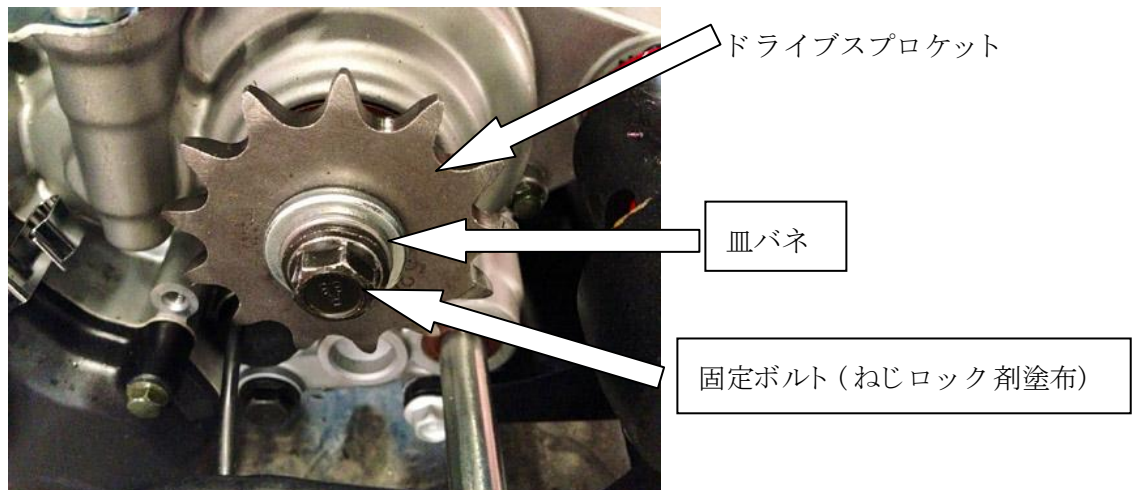


# 改善箇所説明図①



写真は改善実施済み車両のもの(ドライブチェーンを外した状態)

## 基準不適合発生箇所

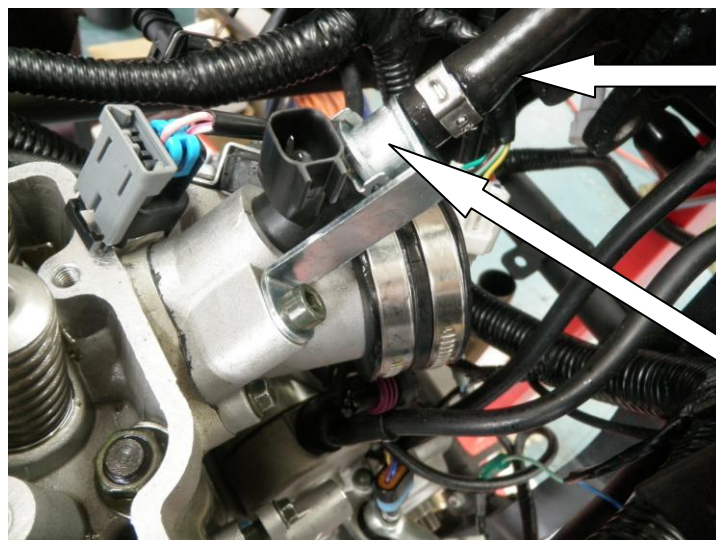
ドライブsproケットの整備時において、固定ボルトに過剰な増し締めを行うことでねじロック剤が剥がれたり、固定ボルトにねじロック剤を塗布せずにドライブsproケットを再組み付けすると、振動等により締め付けが緩み、駆動力を伝達できないおそれがある。最悪の場合、走行中に固定ボルトとともにドライブsproケット及びドライブチェーンが外れて回転部分に噛み込み転倒するおそれがある。

改善の内容：皿バネを追加し、固定ボルトにねじロック剤を塗布して規定トルクで締め付けるとともに、ユーザーに対して適切な整備方法を説明する。

識別：ステアリングシステム部にステッカーを貼付する。

注：  は対策または追加部品を示す。

## 改善箇所説明図②



燃料ホース

インジェクターコネクター

写真は改善実施済み車両のもの

基準不適合発生箇所

インジェクターコネクターの材質が不適切なため、整備時に過度な負荷をかけたり、適切に取り付けしていない場合、損傷して燃料が漏れるおそれがある。

改善の内容：インジェクターコネクター及び燃料ホースを対策品に交換する。

識別：ステアリングステム部にステッカーを貼付する。

注：□ は交換部品を示す。

## 改善箇所説明図③



ECU本体

写真はECU本体の取り付け位置

### 基準不適合発生箇所

バンクアングルセンサーにより転倒判定を行うECUプログラムが不適切なため、走行中に転倒したと誤判定し、エンジンが停止するおそれがある。

改善の内容：バンクアングルセンサーの転倒判定条件プログラムを変更したECUに交換する。

識別：ステアリングステム部にステッカーを貼付する。

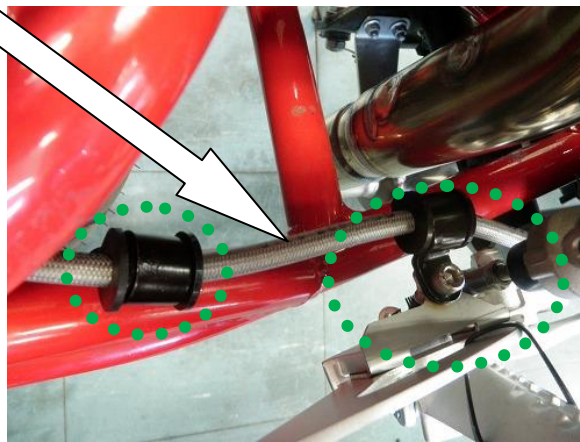
注：は交換部品を示す。

## 改善箇所説明図④



リアブレーキホース

緑丸はリアブレーキホース取付方法変更箇所を示す



写真は改善実施済み車両のもの

基準不適合発生箇所

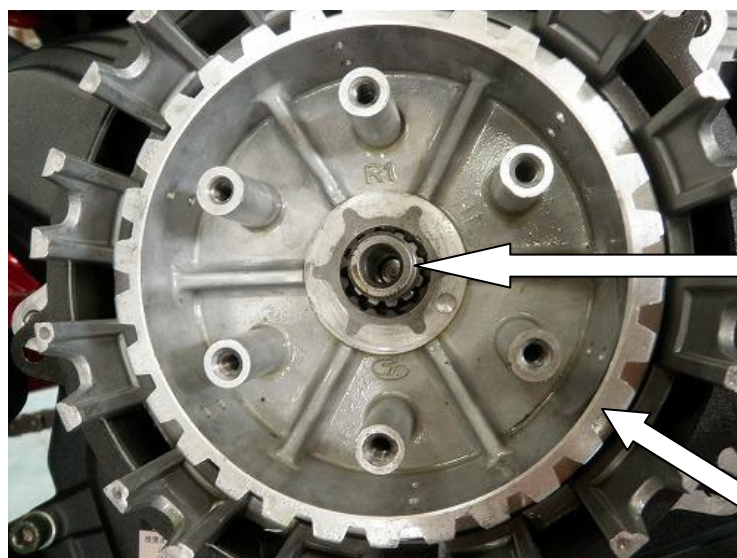
リアブレーキホースの取付位置及び取付方法が不適切なため、リアブレーキホースが損傷してブレーキフルードが漏れてリアブレーキの制動力が低下するおそれがある。

改善の内容：リアブレーキホースの取付方法を変更するとともに、リアブレーキホースを点検し、損傷がある場合には新品に交換する。

識別：ステアリングシステム部にステッカーを貼付する。

注：□ は点検部品を示す。

## 改善箇所説明図⑤



メインアクスル

クラッチボス

写真は改善実施前車両のもの

基準不適合発生箇所

クラッチにおいて、メーカー指定と異なるクラッチボスが組み込まれたため、メインアクスルとの嵌合が不十分なものがある。そのため、トルクがかかると嵌合が外れて動力を伝達できず、走行不能になるおそれがある。

改善の内容：クラッチボスを点検し、異品が使用されている場合には良品に交換する。

識別： ステアリングステム部にステッカーを貼付する。

注：  は点検・交換部品を示す。